

北名古屋市 議会だより

2010
5
vol.20

北名古屋市議会 〒481-8501 愛知県北名古屋市熊之庄御柵60 TEL 0568-22-1111 FAX 0568-23-3140



コッツ山公園

平成22年度一般会計予算
222億5,500万円を可決



【市章】

平成22年 第1回定例会

議決された議案……………2P
委員会質疑報告……………8P
個人質問 4名……………14P

題字は渡辺実希さん（師勝東小学校6年）の作品

第一回定例会

平成22年度 一般会計予算など22議案を可決

第一回定例会は3月2日から24日までの23日間を会期として開催した。

今定例会は、平成22年度の一般会計・特別会計予算案7件、平成21年度一般会計・特別会計補正予算案5件、条例案7件を含む21議案を上程した。

そのうち、人事案件1件については、本会議初日に可決（適任）し、その他の議案は、3月9日開催の本会議において、所管する各委員会にそれぞれ付託した。

その後、所管委員会において慎重に審査し、3月24日開催の本会議において各委員長から審査結果報告が行われ、採決の結果、いずれも原案のとおり可決した。

また、追加議案として議員提案による意見書1件を提出し、これについても原案のとおり可決した。

上程された主な議案と審査結果は、次のとおりである。



平成22年度一般会計予算は、地方分権にふさわしい市政の実現を目指し、安定した財政基盤を堅持しつつ、限られた財源を有効に活用することにより、「健康快適都市」を目標とする総合計画の実効性と建設的な要

予算

▽平成22年度一般会計・特別会計予算の概要

一般会計予算

222億5,500万円

対前年度比

3.2%増

素を持ち合わせ、今後の本市のまちづくりを推し進めていくうえで、一体感のあるまちづくり、市民サービスの質の向上、財政的・政策的にも自立運営できる都市の構築を目指し、誰もが安全・安心に暮らせるまちづくりへの取り組みを盛り込んだ予算編成とした。

歳入では、収入の根幹をなす市税は、個人市民税及び法人市民税ともに大幅な減額としたなか、国・県支出金では、新たに子ども手

当や緊急雇用創出事業基金事業などを増額計上した。歳出では、景気対策に配慮し、健全財政を堅持したなかで、新たな子育て支援として小学6年生までとしていた通院医療費の3分の2補助を中学3年生までに拡大する事業や名古屋市と共同で進めているごみ処理広域化事業を増額としたなど、快適な住環境の構築に努める予算編成とした。

平成22年度予算

会計名	予算総額
一般会計	222億5,500万円
国民健康保険特別会計	72億9,000万円
老人保健特別会計	1,200万円
後期高齢者医療特別会計	6億4,400万円
介護保険特別会計	34億4,200万円
西春駅西土地区画整理事業特別会計	1億5,500万円
公共下水道事業特別会計	18億2,500万円
合計	356億2,300万円

国民健康保険特別会計予算

先進医療技術の導入等による医療費の増加が続き、医療制度改革に伴う保険者としての特定健診等に係る費用や後期高齢者支援金等を総合的に勘案し、健全な運営に努める予算編成とした。

老人保健特別会計予算

平成20年4月から後期高齢者医療制度が創設されたことにより、平成20年3月診療分までの医療費の遅延請求に対応する予算編成とした。

後期高齢者医療

特別会計予算

75歳以上の者と一定の障害があると認定された65歳以上の者が加入する後期高齢者医療制度に係るもので、保険料や保険証の交付等を勘案した予算編成とした。



工事が進む西春駅西土地区画整理事業

西春駅西土地区画整理事業

事業特別会計予算

西春駅西地区を健全な市街地に再生するため、引き続き土地区画整理事業を進めていく。

介護保険特別会計予算

第4期介護保険事業計画に基づき、被保険者の増加に基つき、被保険者の増加に基つき、介護給付費の増加に対応できる予算編成とした。

公共下水道事業

特別会計予算

下水道の供用開始に伴い、受益者負担金と使用料の徴収を行い、また、引き続き汚水管の整備と不用となる浄化槽の雨水貯留施設への転用に補助金交付を組み入れた予算編成とした。

補正予算

▽平成21年度一般会計・特別会計補正予算の概要

一般会計補正予算

今回の補正は、6億3,714万5千円の増額で、平成21年度予算総額が歳入

歳出それぞれ232億8,643万6千円となったものである。

補正予算の概要

国の平成21年度一般会計補正予算第2号で措置された地域活性化・きめ細かな交付金事業等を活用したものであり、主な内容は、歳入では、国庫支出金の国庫補助金は、小・中学校校舎耐震改修工事に係る安全・安心な学校づくり交付金、地域活性化・きめ細かな臨時交付金等2億6,154万9千円の増額。市債は小・中学校校舎耐震改修工事に充当するため合併特例債3億2,500万円の増額等が補正された。



一方の歳出では、総務費において一括計上された地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業で保育園園舎・プール改修、小学校カス管補修等事業費1億939万5千円の増額。民生費の社会福祉費では、介護保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計への繰入金を増額。子ども医療費は扶助費の不用見込み額の減額により5,987万8千円を減額。児童福祉費では、子ども手当システム構築費等1,175万6千円の増額。土木費の都市計画費では、街路整備事業の調査設計委託料等不用見込み額を減額し、西春駅東西連絡橋東側への工レバーター設置事業費等7,267万6千円の増額。教育費の小学校費では、栗島小学校校舎耐震改修事業費2億4,240万円の増額。中学校費では、訓原中学校校舎耐震改修事業費2億7,470万円の増額等が補正された。

国民健康保険特別会計

補正予算

今回の補正は、8,314万4千円の増額で、平成21年度予算総額が歳入歳出それぞれ73億1,461万円となったものである。

補正予算の概要

主な内容は、歳入では、国庫支出金の前年度分の確定に伴う精算分、国庫支出金の算定に係る医療給付費等1億907万6千円の増額、療養給付費等交付金4,549万8千円の増額、前期高齢者交付金2,100万円の増額。県支出金の県補助金では、財政調整交付金2,420万円の減額等が補正された。

一方の歳出では、保険給付費の療養諸費6,780万円の増額、高額療養費1,430万円の減額。諸支出金は、過年度分の国庫支出金返還金2,939万5千円の増額等が補正された。

後期高齢者医療

特別会計補正予算

今回の補正は、2,562万4千円の増額で、平成21年度予算総額が歳入歳出それぞれ5億9,450万円となったものである。

補正予算の概要

主な内容は、歳入では、後期高齢者医療保険料2,400万円の増額が補正された。一方の歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金は保険料、保険基盤安定繰入金金の増額に伴い、2,562万4千円の増額が補正された。



介護保険特別会計補正予算

今回の補正は、2,798万9千円の増額で、平成21年度予算総額が歳入歳出それぞれ31億9,862万6千円となったものである。

補正予算の概要

主な内容は、歳入では、保険料の第1号被保険者保険料2,898万7千円を減額。繰入金金は、介護給付準備基金からの繰入れ6,029万6千円の増額等が補正された。一方の歳出では、保険給付費で、各介護サービス費の決算見込みにより2,798万9千円の増額が補正された。

西春駅西土地区画整理事業

特別会計補正予算

今回の補正は、1千万円の減額で、平成21年度予算総額が歳入歳出それぞれ2億2,044万4千円となったものである。



補正予算の概要

主な内容は、歳入では、公共施設管理者負担金300万円の減額。国庫支出金のまちづくり交付金700万円の減額が補正された。一方の歳出では、事業費の占用物移転補償1千万円の減額が補正された。

条例

北名古屋市医療費支給条例の一部を改正する条例

平成22年4月診療分から、中学3年生まで通院医療費の自己負担額の3分の2を申請に基づき助成することとした。

北名古屋市児童クラブ設置条例の一部を改正する条例

利用希望者の増加に伴い、平成22年4月1日から師勝南児童クラブ及び西春児童クラブを分割し、定員を増やすとともに、名称を次のとおり改めた。

名称	位置	定員
師勝南ほほえみ児童クラブ	二子曙1番地1 (師勝南児童クラブ室内)	40人
師勝南ゆめっ子児童クラブ		40人
西春ほほえみ児童クラブ	弥勒寺西一丁目72番地 (西春児童クラブ室内)	50人
西春ゆめっ子児童クラブ		30人



▽北名古屋市児童クラブ室の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

働く保護者のニーズに対応するため、平成22年4月1日から市内に設置する全ての児童クラブの終了時間を30分延長することとし、夏休み等の学校休業日は、始業、終了時間をそれぞれ30分ずつ延長し、合わせて1時間を拡大することとした。また、西春と師勝南児童クラブ室は、7月1日より土曜日にも開室することとした。なお、開室時間は次のとおりである。

クラブ室名称	クラブ名	開室時間
西春児童クラブ室	西春ほほえみ児童クラブ 西春ゆめっ子児童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の就業日 午前10時～午後7時30分 ・小学校の休業日（夏休み等の長期休業） 午前7時30分～午後7時30分
師勝南児童クラブ室	師勝南ほほえみ児童クラブ 師勝南ゆめっ子児童クラブ	

▽北名古屋市運動広場等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

久地野戌亥14番地に久地野運動広場を新たに整備した。

▽北名古屋市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

清掃業務に従事した職員に対して支給する清掃業務手当を廃止した。



久地野運動広場

▽北名古屋市職員の給与に関する条例及び北名古屋市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

平成22年4月1日から職員に支給している地域手当の支給率を給料の10%から3%に減じた。また、労働基準法の改正に伴い1か月の時間外勤務が60時間を超える場合の措置規定を定めた。

▽北名古屋市職員の旅費に関する条例等の一部を改正する条例

一般職の職員の公務による旅行に関し、自分の間、日当の支給を行わないこととした。

推薦

▽人権擁護委員

大野 洋子

(敬称略)

北名古屋市六ツ師



第一回定例会 ◇上程議案とその審議結果◇

平成21年度北名古屋市一般会計補正予算（第5号）について	原案可決	全員賛成
平成21年度北名古屋市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	全員賛成
平成21年度北名古屋市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	全員賛成
平成21年度北名古屋市介護保険特別会計補正予算（第3号）について	原案可決	全員賛成
平成21年度北名古屋市西春駅西土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	全員賛成
平成22年度北名古屋市一般会計予算について	原案可決	賛成多数
平成22年度北名古屋市国民健康保険特別会計予算について	原案可決	賛成多数
平成22年度北名古屋市老人保健特別会計予算について	原案可決	全員賛成
平成22年度北名古屋市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	賛成多数
平成22年度北名古屋市介護保険特別会計予算について	原案可決	賛成多数
平成22年度北名古屋市西春駅西土地区画整理事業特別会計予算について	原案可決	全員賛成
平成22年度北名古屋市公共下水道事業特別会計予算について	原案可決	全員賛成
北名古屋市職員の給与に関する条例及び北名古屋市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	賛成多数
北名古屋市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	全員賛成
北名古屋市職員の旅費に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決	全員賛成
北名古屋市医療費支給条例の一部を改正する条例について	原案可決	全員賛成
北名古屋市児童クラブ設置条例の一部を改正する条例について	原案可決	全員賛成
北名古屋市児童クラブ室の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	全員賛成
北名古屋市運動広場等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	全員賛成
市道路線の認定及び廃止について	原案可決	全員賛成
人権擁護委員の候補者の推薦について	原案適任	全員賛成
永住外国人への地方参政権付与の法制化に慎重な対応を求める意見書の提出について	原案可決	賛成多数

第二回臨時会は、4月5日に招集され議案第27号「北名古屋市市税条例の一部を改正する条例」と議案第28号「北名古屋市都市計画税条例の一部を改正する条例」の2議案を審議し、それぞれ原案のとおり可決した。

これらの条例の一部改正は地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴うもので、65歳未満の者のうち、公的年金等による所得を有し、かつ、給与所得を有する場合に、公的年金等の所得による個人住民税所得割額を給与所得による個人住民税の額に加算して、給与特別徴収により納付しているだけのように改めるほか、法律の引用条文の整理を行ったものである。



審査報告 ①

～主な議案質疑の内容を紹介します～

予算特別委員会：平成21年度一般会計補正予算（第5号）

予算特別委員会

▼平成21年度一般会計補正予算（第5号）

質問 歳入で、緊急雇用創出事業基金事業費補助金が680万1千円減額補正されている。減額補正でなく、更に、有効活用する考えはなかったのか。

答弁 県の認定を受けた事業以外に用いることはできない。入札結果に基づいて減額補正した。

質問 生活保護事業に係る事業費が増加傾向にある。相談件数の実態は。

答弁 平成19年度は95件、平成20年度は173件、平成21年度（平成22年1月まで）は268件で急増している。



栗島小学校

質問 道路橋りょう新設改良事業費が繰越明許費補正として計上されている。当初予算で事業費を計上しながらも年度内に完了できない理由は。

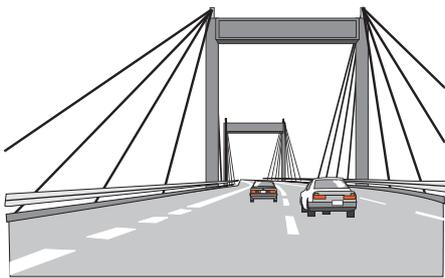
答弁 橋の架け替えに伴う道路通行止め調整に手間取ったことによる。

質問 防災行政無線管理費が繰越明許費補正となっている理由は。

答弁 国が行うジェイアラート（全国瞬時警報システム）の開発の遅れによるもので、本市だけでなく他市町村も同じ取扱いをしている。

質問 栗島小と訓原中の校舎の耐震化を図るため小・中学校整備事業費が増額補正されている。平成22年度予算では白木小、鴨田小、熊野中の校舎の耐震化に向けた実施設計に係る予算が計上されている。耐震化が図られていない学校における今後の予定は。

答弁 平成23年度に行う白木小、鴨田小、熊野中の校舎耐震工事をもって、全てが完了する予定になっている。



質問 当初予算で市債は15億5千万円計上され、6月、9月にそれぞれ増額補正し、今回、3億2,500万円増額補正されている。市債は当初予算で全てを計上し、年度途中での補正は行わないのが原則でないのか。

答弁 財源不足によりやむを得ず補正した。年度途中での補正は極力行わないよう努めていきたい。

質問 歳入で、市税延滞金が増額補正されている。どの様な取組みを行ったのか。また、差押え等を行っていると思うが、これに伴う苦情はないか。

答弁 対策本部を設置し、本税に延滞金を合わせた形で、差押え等の徴収事務に努めた結果である。平成22年2月末では約3,100万円となっている。差押えに際しては、納税相談等、多くの面談を行っており、苦情が無いよう心がけている。

委員会における

予算特別委員会：平成22年度一般会計予算

▼平成22年度一般会計予算

質問 個人市民税と比較して法人市民税による歳入予算額は、前年度に比べ大幅な減額となっている。景気低迷の影響によるものと思われるが、個人市民税が最も影響を受ける時期は。

答弁 確定申告による課税が確定しないと見解できない。トヨタショックの影響もあり、かなり心配な状況下にある。今年がピークであることを希望する。

質問 状況によっては平成22年度中に大幅な補正が行われると受け止めてよいか。また、対応策についての具体的な考えは。

答弁 補正を行わなければならない場合もある。税収不足の対応としては、歳入の補完はできないことから、国が行った事業仕分けのよう、事業の評価、見直しを行い、歳出を極力抑制して行くことになると思う。

質問 平成22年度の経常収支比率は90・2パーセントで、平成21年度に比べ5パーセントも数値が上がっている。この要因は。また、市債が16億7,600万円計上されており、前年度の繰越明許分3億2,500万円を含めると、当初予算の段階で約20億円の市債となる。本年度も増額補正はありうるのか。

答弁 投資的経費である普通建設事業費が一般会計予算全体の約8パーセントを占めたことによる。市債は、本年度計上分を含め総額約250億円となり非常に危惧している。標準財政規模の3・5倍(約500億円)が限度とされているが、本市の体力では400億円が限度と考える。施策評価を行い事業の見直しを図ることにより対処したい。

質問 市債の償還額が最も多くなるのはいつ頃なのか。

答弁 試算では、平成26年度で約19億5千万円となる。

質問 ホームページ管理業務の委託料として約190万円計上されている。市からの情報発信を目的としているが、更にブラッシュアップする考えはあるのか。

答弁 来年度にかけて見直しを検討していきたい。

質問 庁舎検討調査費が計上されている。合併して4年を経過するが、庁舎についての調査、検討の現況は。

また、世界各地で大地震が発生している。庁舎を防災拠点とする観点から、具体的な方針を示す時期ではないのか。

答弁 現在もお調査、検討中であるが、平成22年度に方針を定め、平成23年度以降に予算計上していきたい。



きたバス

質問 市内循環バス事業において、利用者が30万人を超え、今後も利用者の増加が見込まれるが、路線によっては色々な課題があると思われる。対応の考えは。

答弁 市民のご意見により、見直しが必要であれば、予算を踏まえて検討していきたい。

質問 シルバー人材センターへの委託事業であった庁舎間シャトルワゴン運行事業は、平成22年度から職員対応となる。シルバー人材センターが行う事業の減少となるが、対応は。

答弁 衛生組合の業務縮小に伴い、当該組合の職員20人を本市で採用するため委託を取りやめた。ご理解いただきたい。

審査報告 ②

～主な議案質疑の内容を紹介します～

予算特別委員会：平成22年度一般会計予算



質問 二次救急事業に係る予算が計上されている。整備、運営は図られていると思われるが、病院自体の機能は備わっているのか。

答弁 二次救急の整備を図るため済衆館病院に補助している。医療設備を備え、医師、看護師等も確保されており、十分な機能を備えていると思われる。

質問 健康診査事業として行っている女性特有のがん(子宮がん・乳がん)検診は、平成21年度については、国の全額負担で行われ、平成22年度については国の2分の1の補助を受けて、無料クーポンにより行われる予定となっている。平成21年度の受診状況は。また、平成23年度以降の予定は。

答弁 子宮がん検診の対象者数は2,851名で受診者数は419名、乳がん検診の対象者数は2,636名で受診者数は505名となっている。事業を5年間継続すれば対象者全員が受診を終えると思われる。財政事情を踏まえて事業継続を検討していきたい。

質問 子育て支援物品貸出事業として三人乗り自転車の貸出しが行われる。申込状況は。また、自転車事故の増加が危惧される。交通安全指導の方法は。

答弁 50台ある三人乗り自転車は全て貸出し済みとなっている。6名の待機者がある。保育園で行う交通安全教室に参加すること、交通災害共済に加入することなどを条件としている。警察署と連携し講習会等への参加も促していきたい。

質問 児童措置費において2億600万円が一般(自主)財源となっている。子



健やかな成長を願う

ども手当が要因と思われる。この手当は国が全額負担すべきであり、市が負担する必要はないのでは。

答弁 国の全額負担による事業とされていたが、国の財政事情から、地方公共団体にも負担を求める通知を受けたことによる。

質問 児童福祉施設整備事業において、児童福祉施設建設構想作成に300万円が計上されている。児童福祉施設(保育園等)の整備を図るためのものと思われる。新たな整備も必要であるが市内にはさかえ荘、さくら荘等の高齢者福祉施設があり、子どもと高齢者と

のふれあい、高齢者の認知症予防の観点から、これらの施設を活用する考えは。

答弁 ご意見を踏まえ、保育園等施設の老朽化対策を検討していきたい。

質問 国民健康保険特別会計への繰出金が減額され3億2千万円となっている。この理由は。

答弁 毎年度、多額の繰出金を支出していたが、本年度は、財政事情が非常に厳しく、やむを得ず前年度の半額とした。

質問 (仮称)第5特別養護老人ホーム整備費として概算負担額が計上されている。建設費は約17億円と聞いているが、この根拠は。完成予想図、設計図は示されないのか。

答弁 基本設計の段階である。資料が整えば提示させていたたく。建設費は他の建設例、坪単価80万円から90万円を基に算出されている。

委員会における

予算特別委員会：平成22年度一般会計予算

質問 保育士派遣業務の委託料が計上されている。保育士の確保は、職員採用ではなく、民間派遣により確保する考えなのか。

答弁 行政改革に伴う定員管理により正規職員の採用ができない状況下にある。臨時職員を募集しても応募がなく、やむを得ず民間派遣により確保することにした。民間派遣のみで保育園を運営する考えはない。

質問 小学校、中学校の給食費は、学年にかかわらずそれぞれ一律の価格となっている。小学校1年生と6年生では、給食量は異なり、摂取カロリーも異なる。給食費の価格設定や献立について細分化する考えはないのか。

答弁 給食費は一食当たり、小学校220円、中学校260円で、食材料として徴収し、その他の費用は市が負担している。細分化は望ましいことではあるが、給食センター設備の現状、調

理の手間、安全食材の確保等の理由から細分化は困難である。



消防団観閲式にて

質問 消防施設整備事業として消防団詰所一か所の建設が予定されている。今後の建設予定は。また、建設後における施設管理方法は。

答弁 平成22年度は天神中学校区内に建設を予定している。それ以後は、6分団あることから、中学校区を単位として、2、3年に一か所の割合で建設を検討している。建設後の管理は、消防車両を含め、各分団での管理としたい。

質問 非常備消防総務費において消防団員報酬が計上されている。女性消防団員を募集されているが、この分を見込んで計上されているのか。また、募集人数と具体的な役割は。

答弁 女性消防団員分を含め計上している。10名を募集し、消防・防火啓発、自主防災訓練、心肺蘇生訓練等を行っていただく予定をしている。

質問 体育指導員は、40名の定員に対し26名となっている。体育指導員がいない校区が見受けられるが、補充する考えは。

答弁 体育指導員、市職員等を通じて紹介をお願いし



ている。主に活動は土・日曜日、祝日であり、夜間の活動もあることから承諾を得ることに苦慮している。

質問 学び支援事業費として34名分の臨時教諭の賃金が計上されている。この人数で児童・生徒の学力の充実が図れるのか。

答弁 十分ではないが、現状での最大限の対応とされている。学習指導要領も変わり、十分な成果は得られないかもしれないが、全力で取り組んでいきたい。

質問 給食センターで調理後に不要となる食材はどのように処理しているのか。家畜等の餌としてリサイクルする考えはないのか。

答弁 納入業者又は市において処分している。旧町時に業者に堆肥処理を委託した例はある。リサイクルには費用が掛かり、現在の財政状況では取り組むことは困難と思われる。財政状況に応じて検討したい。

審査報告 ③

～主な議案質疑の内容を紹介します～

予算特別委員会：平成22年度国民健康保険特別会計予算
 ：平成22年度後期高齢者医療特別会計予算
 ：平成22年度介護保険特別会計予算

▼平成22年度国民健康保険特別会計予算

質問 一般被保険者数は約570人増えているものの国民健康保険税による歳入予算額は前年度よりも減額となっている。この理由は。
答弁 現行税率を基に試算した結果である。

質問 税率改正の考えは。
答弁 医療費等は増額傾向にあるにもかかわらず国庫補助は減額傾向にあり、一般会計からの繰入金が増額も望めないことから、税率改正を検討しなければならぬ状況下にある。納税に際し、納めたくても納めない方があることから、課税のあり方を慎重に精査し、納税者の理解が得られるよう努めたい。

質問 予算額上は歳入歳出の調整がなされているが、国民健康保険特別会計が赤字決算となった場合の対応は。また、市民への説明は。

答弁 平成22年度は一般会計からの繰入金として3億2千万円を計上している。一般会計からの繰入金が増えたとされているが、一般会計はどのようなのか。「市債は増やすな」「事業を見直し歳出を抑制するな」「市民生活はどうなる」とのご意見をいただくが、社会保障制度としての国保会計のあり方に大きな疑問を抱いている。被保険者の負担能力も限界がある。市町村に適合した国保制度の確立を求めめるため市長会を通じて訴えてきたい。



▼平成22年度後期高齢者医療特別会計予算

質問 保険料による歳入予算額が前年度に比べ約9千万円増額となっている。高齢者の方々の収入は増えていない。市民の反応は。
答弁 医療費の増大に対応するための見直しであり、ご理解していただけていると思っている。国において制度の廃止が検討されている。動向を見守りたい。

質問 成年後見制度利用助成事業費として213万円計上されている。前年度当初予算と比較して大幅な増額となっているが、その理由は。また、親族はあるものの断絶状態にある方の対応は。
答弁 対象者が増加傾向にあり、10名程度の利用があると見込み増額した。親族調査の結果、断絶状態にあ

質問 介護従事者処遇改善臨時特別基金は介護従事者の処遇改善のため一人当たり年間1万5千円の賃上げを図るために活用されるものではないのか。介護給付に充てられているように思われる。
答弁 介護従事者を雇用する施設において、直接、国に対して請求を行うことにより処遇改善を図ることになっている。一方、市においては、処遇改善を目的に介護サービス費が3パーセント高くなることによる被保険者の負担（保険料）が増大しないよう補うために基金を活用している。



る方については、専門家と相談し、市が対応する。

委員会における

予算特別委員会：平成22年度公共下水道事業特別会計予算
福祉教育常任委員会：北名古屋市医療費支給条例の一部を改正する条例
 ；北名古屋市運動広場等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

▼平成22年度公共下水道事業特別会計予算

質問 公共下水道事業の整備に伴い維持管理費の増大が見込まれる。平成26年度に市債償還が最も多くなる(約20億円)とのことであるが、景気の現状を踏まえ、財政面での見通しは。

答弁 一般会計から繰出金を支出するものの、特別会計であることから、整備費、維持管理費等を踏まえて使用料等を定め、納付をお願いしたい。原則的に独立採算での事業展開としたい。

質問 平成22年度は4億円の繰入金が見込まれているものの、公共下水道事業特別会計全体では前年度に比べ約10億円の減額となっている。今後の事業展開の見通しは。

答弁 事業計画全体では、375ヘクタールの整備を予定している。平成22年度末で約341ヘクタール(約24パーセント)の整備

が完了する見込みである。計算上では、事業完了までに約50年を要することになるが、事業認可については、平成23年度末で残り約65ヘクタールになる予定であり、財政状況に応じて早期完了に努めたい。

質問 公共下水道事業受益者負担金の納付状況と未納世帯への対応は。また、公共下水道への接続状況と未接続世帯への対応は。

答弁 3年間で12回に渡って納付をお願いしている。2年目途中での未納世帯数は約120世帯あり、督促状や催告書、電話等により納付を促している。訪問徴収も検討している。平成21年度末で対象世帯数約7,800世帯のうち約3,200世帯が接続済みとなっている。合併浄化槽等を利用して早期接続をお願いしている。各家庭の諸事情もあることから柔軟に対応したい。

福祉教育常任委員会

▼北名古屋市医療費支給条例の一部を改正する条例

質問 国民健康保険税未納世帯で短期保険証を受け取っていない世帯はあるのか。子どもに対しては保険証を交付し、子ども医療の給付を行うべきでは。

答弁 受領されていない世帯はある。実費で受診されても子ども医療の対象とす

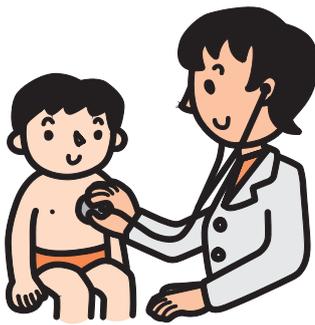
質問 子ども医療において、一部負担金相当額を全額補助する市町もある。一部負担金のあり方についての考えは。

答弁 子育てにおいて、子どもたちにとって何が一番大切なのか定義が漠然としている。子育ての原点に立って子ども医療のあり方を考える必要がある。今後の大きな課題として真剣に検討していきたい。

▼北名古屋市運動広場等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

質問 運動広場に適した面積でないように思われる。運動広場等として決定した経緯は。

答弁 旧久地野保育園の跡地で地元自治会の意見等を踏まえて決定した。



4名 市政を問う

個人質問(要旨)

市民民主クラブ

日榮 政敏

平成22年度予算の
施政方針について

質問

平成22年度的一般会計予算は総額222億5,500万円の予算が計上されている。当然のことながら、市長の思いや考えがあつて予算編成がなされているものと思つている。施政方針を示さなかつた理由は聞いているが、改めて、市長の思いや考えをお聞きしたい。

答弁(市長)

国の政権交代に伴い、施策の内容が明確になつておらず、困惑した中、悩みながら予算編成を行った。継続的、発展的な事業等の取

組みを含め、骨格予算に近い予算編成を余儀なくされた。新体制の中で、市民の皆様の見解を集約し、次期6月定例会において、新年度予算を示すことが望ましいと考え、施政方針を控えさせていただきます。

再質問

骨格的予算として222億5,500万円という一般会計予算を計上している。現市長が責任を持って新年度予算を編成してもよかつたのではないか。

再答弁(市長)

市民の皆様からの要望等を集約した中で、新市長の下で、施策を盛り込んだ予算を編成し、市民の福祉向上を図ることが最善と考える。また、子ども手当、高

校の授業料等、はつきりしていないかつた面もあり、このような予算となつた。

その他の質問

- ・新市長としての4年間の取り組みと評価について
- ・不況下におけるサラリーマン等への対応について
- ・不足する財源確保のため市債について

北名古屋市無所属クラブ

桂川 将典

仕様書の

評価能力について

質問

平成22年1月に執行された提案型入札について、発注する担当部課では「知識がなく評価できない」等、専門性が違いすぎると訴えている。形式上は適切に執行されたように作られているが、①仕様書(必須要件・提案要件)を自分で書いていない。②仕様書の評価を

できる職員が課に配置されていないという問題点がある。行政が仕様書を書かせるコンサルタントには、自社と取引のある企業に有利な仕様書を作るテクニクが存在する。必須、機能の他に、特定企業に有利となるよう容積や重量等をうまく調整した仕様書では、入札の公正性を欠くといわれども仕方がない。今後、どのようにしていくのか。

答弁(総務部長)

急速なIT技術の発展や情報公開へ対応するため、コンサルタントに委託し、教育現場の現状確認や要望、セキュリティ対策等、多くの項目を取りまとめ、学識経験者として大学の専門分野の教授に調達内容や評価基準、業者決定までの内容について伺い、適正に執行したと考えている。今後は、IT調達に係る統一ルールを作成し、CIO補佐官の導入や事業課と専門組織をまとめたプロジェクトマネ

ージメントオフィスの組織づくりに向け、調査研究し、適正な運営に努めていきたい。

再質問

仕様書が制度のプロセスで十分に評価ができなかつたのが反省点である。入札の執行を厳しく評価ができるようなチームづくり、機能できる組織運営についての考えは。

再答弁(総務部長)

IT技術の急速な発展により、対応しきれないのが現状である。今後は、クラウドコンピューティングへの移行も視野に入れ、対応していきたい。

その他の質問
・提案型入札の適切な運営について

議会活動報告

2月1日	尾張農業共済事務組合 議会定例会	3月12日	予算特別委員会 議会改革推進協議会
4日	西春日井広域事務組合 議会議事運営会議	15日	福祉教育常任委員会 建設常任委員会
5日	愛知県市議会議長会定 期総会	16日	東京都杉並区議会視察 来庁
10日	愛知県後期高齢者医療 広域連合議会定例会	17日	総務常任委員会 議会運営委員会
17日	西春日井市町議長会 兵庫県播磨町議会視察 来庁	23日	議会運営委員会 本会議 (定例会)
18日	兵庫県播磨町議会視察 来庁	24日	本会議 (定例会) 全員協議会
23日	議会運営委員会	29日	久地野ポンプ場竣工式 北名古屋衛生組合議会 臨時会
24日	西春日井広域事務組合 議会定例会	31日	議会運営委員会
25日	北名古屋水道企業団議 会定例会	4月5日	本会議 (臨時会) 総務常任委員会 全員協議会
3月1日	本会議 (臨時会)	13日	議会だより編集委員会 愛知県豊田市議会視察 来庁
2日	本会議 (定例会)	22日	東海市議会議長会定期 総会
8日	議会運営委員会		
9日	本会議 (定例会)		
11日	予算特別委員会		

議会を傍聴してみませんか

6月定例会日程 (予定)

6月1日	本会議
6月10日	本会議 (一般質問)
6月11日	本会議予備日
6月14日	予算特別委員会
6月16日	福祉教育常任委員会
6月17日	建設常任委員会
6月18日	総務常任委員会
6月22日	本会議

○時間：午前10時～

○場所：市役所東庁舎4階

●委員会の傍聴を希望される方は、午前9時30分から午前9時45分までの間に傍聴受付をお済ませください。

なお、傍聴定員は先着5名で、途中入場、途中退場することができません。

●日程等は変更される場合があります。傍聴を希望される方は、事前に議会事務局へお問い合わせください。

市のホームページからも議会だよりが閲覧できます。

<http://www.city.kitanagoya.lg.jp>

編集後記

私ども初代市議会議員は、市民の皆様方のご期待と負託に
 えるため、市議会として市民参加型の協働によるまちづくりの
 推進を図り、北名古屋市の基本理念である「健康快適都市」の
 実現と議会基本条例の本旨とする「市民に親しまれる開かれた
 市議会」の実現に向けて24名の市議会議員が一丸となって取り
 組んでまいりました。新しい市議会議員24名におかれましても、
 一層のご尽力をお願いしたいと思います。
 今後とも市議会に対し、ご支援とご協力のほど、よろしくお
 願い申し上げます。
 なお、新しい議会組織は次回の議会だよりでご案内する予定
 です。